

日本における国際研究集会をふりかえって

いくつかの記録

日本数学会 学術委員会

アジアで最初の国際数学会議 ICM が 1990 年に京都で開催されて 20 年が過ぎた。

日本における国際研究集会は 1955 年の代数的整数論国際会議に始まる。ICM90 が日本で実現されるまでには、代数的整数論国際会議と同様の、IMU の支援を受けた複数の集会の開催があった。ICM90 をひとつの転回点とし、その後の助成環境の変化をうけ、日本における国際集会のあり方は大きく変わった。また現在は国際的な、あるいはアジアの状況の変化も背景として無視できない。

数学会学術委員会では、これからの国際研究集会のあり方を考えるため、日本における数学の国際研究集会を振り返る特集を数学通信編集委員会に提案させていただいた。

特集は性格の異なる次の 3 つの記事からなる。

- 「ICM90 以前」について

貴重な講演音声テープのデジタル化とその利用法について（麻生和彦）

日本の数学を振り返った時に大きな意味をもつ次の国際研究集会の音声テープ記録が 2008 年に東京大学数学教室の図書館で見つかった。

1955 年 代数的整数論国際会議 東京日光国際集会

1969 年 函数解析学国際会議

1973 年 多様体論国際会議

現在、その資料の調査とデジタル化を進めている麻生和彦氏に、現状を説明していただいた。

- 「ICM90」について

ICM90 まで（服部晶夫）

服部晶夫 元数学会理事長は ICM90 が日本で開催されるひとつのきっかけの当事者であると伝えられている¹。その当時の状況とその背景を中心として執筆していただいた。

¹ 「次に ICM 開催が話題となったのは 1979 年である。たまたま、訪日中の Chandrasekharan 氏に、服部晶夫教授が ICM を招致するにはどうすればよいか質問したのがきっかけとなって、IMU 側、日本側とも、近い将来日本で ICM を開催することを真面目に検討することになった。」 「第 21 回国際数学会議について」（小松彦三郎）より <http://mathsoc.jp/pamph/history/ICM90/sugaku4301001-008.pdf>

- 「ICM90 以後」について

MSJ-IRI, MSJ-RW から MSJ-SI へ (学術委員会)

ICM90 以後の国際研究集会の中で, 日本数学会が主催した次のシリーズ

MSJ-IRI (1993 ~ 2006 日本数学会国際研究集会 MSJ- International Research Institute)

MSJ-RW (1996 ~ 1999 日本数学会リージョナルワークショップ MSJ- Regional Workshop)

MSJ-SI (2008 ~ 現在 日本数学会季期研究所 MSJ- Seasonal Institute)

についてその経緯を振り返る .

この特集は網羅的なサーベイを意図してものではない . 特に, ICM90 以後については, 数学会と直接関わる集会に限って記述しているが, むしろ, そうではない集会の比重のほうが総体として大きいであろう . しかし, 今後の国際研究集会を考える上で, ひとつの資料として数学会会員の皆様の参考となれば幸いである .

また過去の資料で失われつつあるものもあるであろう . それらの所在についてご存じの方は, 学術委員会までご一報をお願いしたい . 同様に, 過去の事情をご存じの方には, どうか当特集の記述への補足・訂正のご指摘をお願いしたい² .

(学術委員会 : 文責 古田幹雄)

²必要に応じて学術委員会のウェブページにおいて補足・訂正を掲載する予定です .